



2023年2月28日

各 位

会社名 株式会社データ・アプリケーション
代表者名 代表取締役社長執行役員 安原 武志
(コード番号：3848)

問合せ先 取締役執行役員経営企画管理本部長 金子 貴昭
(電話：03-6370-0909)

2023年3月期第3四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2023年2月6日(月)の2023年3月期第3四半期決算発表以降において、株主・投資家の皆様からのお問い合わせおよび1on1ミーティングなどにていただいた主なご質問をまとめたものです。ご理解を賜る事を目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

【業績について】

Q. 2023年3月期第3四半期決算の概況・全体感について教えてください。

A. 前年同期比で増収増益であり、増収の主な要因は、サブスクリプションが伸長し、EDI需要も堅調であったことです。増益の要因としては、売上の増加に連動した部分に加えて、コストの未消化によるものです。

Q. コストの未消化について内訳を教えてください。

A. コスト未消化の内容としては、主に人件費によるものです。採用活動を積極的に行っているものの、想定していない退職者もあったためです。

Q. 通期予想は、売上高23億5000万円(前期比2.1%増)、営業利益3億3000万円(同25.3%減)と増収減益で、すでに営業利益は達成しておりますが見通しはいかがでしょう。

A. 案件の受注状況及び経費の使用状況など、不確定な要素を含んでいることから、現時点での業績予想の修正は実施しておりません。業績予想の修正に関しては、変更が生じる場合は速やかにIRリリースなどで発表させていただきます。

【事業について】

Q. データ連携市場に市場を拡大していくにあたり課題は何でしょうか。

A. 弊社が従来お付き合いしている EDI 事業を行うパートナー様の部門とデータ連携を行う部門は違うことが多く、タッチポイントを変える必要があります。そのため DX を意識しエンドユーザーに直接アプローチするための営業体制を整えています。

【製品・事例について】

Q. 株式会社セゾン情報システムズ様の導入事例について概要を教えてください。

A. 株式会社セゾン情報システムズ様のファイル転送サービスである HULFT Multi Connect Service のデータ連携基盤として ACMS Apex が採用されました。詳細は以下のプレスリリースをご参照ください。

※株式会社セゾン情報システムズ、SaaS 型マルチプロトコルゲートウェイサービス HULFT Multi Connect Service の基盤に ACMS Apex を採用
<https://www.dal.co.jp/pressrel/20221118.html>

【市場環境について】

Q. 「自治体情報システム標準化」の流れを受けた、旧システムから新システムへのデータ移行のニーズも発生しているとのことですが、RACCOON 拡販の状況はいかがでしょうか。

A. 先行で対応する自治体にターゲットを絞り提案中で、横展開の拡販を狙っています。

※全国約 1700 の自治体が 2025 年度末までに、デジタル庁が整備するマルチクラウドである「ガバメントクラウド」を活用した標準準拠システムに移行するという取り組み

Q. EDI の 2024 年問題を背景にした引き合いの状況はいかがでしょうか。

A. 固定電話の IP 網移行とそれに伴う INS ネット（デジタル通信モード）のサービス終了までいよいよ 1 年を切っておりますので、東日本電信電話株式会社様と共同セミナーを行うなど引き続き需要喚起をしております。

Q. インフレなどマクロ環境についての影響の状況はいかがでしょうか。

A. 弊社製品が社会・経済活動に欠かせないインフラなので、影響を受けにくいという特長があります。ただし、企業の設備投資の優先事項として IT 投資の優先度が下がる可能性もございますので、状況を注視してまいります。

【その他】

Q.株式分割を行った理由を教えてください。

A. 中期経営計画の4つの柱の1つである「企業力強化」として、弊社株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、投資家層の拡大と弊社株式の流動性の向上を図ることを目的としています。

Q.株主優待制度について、昨今上場企業での優待廃止が広がっている事例もありますが、このタイミングで開始した理由は何でしょうか。

A.株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝とともに、長期保有に対する優遇設定もできるという点も大きいことから、より多くの方により長く弊社を応援して頂きたいという思いや、個人株主様の減少や流動性、出来高の低下といった課題に対する対応策のひとつとして行いました。

【株式会社データ・アプリケーション（DAL）について】 (<https://www.dal.co.jp/>)

DALは、1992年にUNIX向けの製品をリリースして以来、EDI（電子データ交換）を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS (Advanced Communication Management System) シリーズ」を提供してきました。「ACMS シリーズ」は、国内のEDIパッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに2,600社 13,500サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

<本件についてのお問い合わせ先>

| |
|---|
| 経営企画管理本部 |
| E-Mail : ir@dal.co.jp |
| Tel : 03-6370-0909 |

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止並びに働き方改革の観点から、在宅勤務を中心としたリモートワーク推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。
※当資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績はさまざまな要素により、これら見通しと大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。また、会社の業績に影響を与え得る事項の詳細内容につきましては、決算短信の「事業等のリスク」をご参照下さい。しかしながら、業績に影響を与え得る要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意下さい。

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON, OCRtran は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

| | | | |
|---|--|--|--|
|  https://www.dal.co.jp/  | エンタープライズ・データ連携基盤   | データハンドリングプラットフォーム   | 投資家向けIR情報は こちらをご覧ください。  |
|---|--|--|--|